

ドビュッシーとラヴェルに関する本

1. クロード・ドビュッシー(1862-1918)に関する本

- 1)『ドビュッシー』 松橋麻利著, 音楽之友社, 762.35/Do
- 2)『ドビュッシーとピアノ曲』 マルグリット・ロン著, 音楽之友社, 763.2/Do
- 3)『ドビュッシーをめぐる変奏』 アンドレ・シェーファー著, みすず書房, 762.35/Do
- 4)『ドビュッシーピアノ全作品演奏ハンドブック』 中井正子著, アルテスパブリッシング,
763.2/Do
- 5)『ドビュッシー』 平島正郎著, 音楽之友社, 762.35/Do
- 6)『ドビュッシーのピアノ作品』 ロバート・シュミッツ著, 全音楽譜出版社, 762.35/Do

2 モーリス・ラヴェル(1875-1937)に関する本

- 1)『ラヴェル』 ジョルジュ・レオン著 ; 北原道彦, 天羽均訳, 音楽之友社, 762.35/Ra
- 2)『ラヴェルのピアノ曲』 エレーヌ・ジュルダン=モランジュ, ヴラド・ペルルミュテル著,
前川幸子訳, 音楽之友社, 763/505
- 3)『ラヴェル』(作曲家別名曲解説ライブラリー) 音楽之友社編,
音楽之友社, 760.8/O/1-11
- 4)『ラヴェル : その素顔と音楽論』 マニユエル・ロザンタール著 ; マルセル・マルナ編 ;
伊藤制子訳, 春秋社, 762.35/Ra

2015年6月24日(水)に開催された郡山開成学園第188回芸術鑑賞講座「小川典子ピアノリサイタル」で演奏されたドビュッシーとラヴェルの作品について, 理解の手助けとなる蔵書を紹介します。

それぞれの作品の楽譜も所蔵しております。